DX BROADTEC

取扱説明書 / 保証書

ポータブル ワンセグテレビ

型番 **LVS-31**

このたびは、ポータブルワンセグテレビをお買い上げいただき、まことにありがとうございます。

- ご使用の前にこの取扱説明書をよくお読みのうえ、正しくお使いください。
  特に「安全上のご注意」は、ご使用前に必ずお読みいただき、安全にお使いください。
  お読みになったあとは、大切に保管し、必要なときにお読みください。
  保証書は、「お買い上げ日・販売店名」などの記入を必ず確かめ、販売店からお受け取りください。
- 製造番号は、安全確保上重要なものです。お買い上げの際は、電池ぶたの中と保証書に記載されている製造番号をお確かめください。

主な仕様

※ 都合により製品の仕様および外観の一部を予告なく変更することがあります。

項目	仕様
品名	ポータブル ワンセグテレビ
型番	LVS-31
使用電源 *1	単３形アルカリ乾電池２本／単３形ニッケル水素電池２本（推奨）
消費電力	最大1.9W *2
受信チャンネル	UHF : 13-62ch
連続視聴時間 *3	約4時間：アルカリ乾電池使用時（新品であること） 約5時間：ニッケル水素電池 容量2,000mAh使用時（新品で満充電のこと）
スピーカー	φ20mm 丸型８Ω モノラル
液晶ディスプレイパネル	2.5V型 QVGA TFTカラー液晶（320×240pixels）
接続端子	イヤホン端子（ステレオミニジャックφ3.5mm）
外形寸法	90×60×27mm（幅／高さ／奥行）(突起部除く)
質量	約 150g（単3形乾電池2本含む）
環境条件	使用周囲温度0℃～40℃　許容相対湿度 10%～80%（結露のないこと）

*1：単3形マンガン乾電池等推奨以外の電池も使用できますが、視聴時間は、種類によって異なります。
*2：画面の明るさ「明るい」、音量最大「20」、内蔵スピーカー使用時
*3：常温時、画面の明るさおよび音量が工場出荷時の設定状態で、連続的にテレビを視聴した場合
実際の視聴時間は、使用環境および使用状況によって変わるため、あくまでも目安であり保証する時間ではありません。

【DXアンテナ株式会社】受付時間 9:00 ～ 17:30 (土曜・日曜・祝日および夏季休暇・年末年始は除く)
家電営業部（東日本）　〒101-0021 東京都千代田区外神田4丁目11番5号 船井ビル5F
TEL (03)3526-5318　FAX (03)3526-5712
家電営業部（西日本）　〒532-0011 大阪市淀川区西中島7丁目4番17号 新大阪上野東洋ビル8F
TEL (06)6889-1530　FAX (06)6889-1540

販売元: **DXアンテナ株式会社**　〒652-0807　兵庫県神戸市兵庫区浜崎通2番15号
製造元: **船井電機株式会社**　〒574-0013　大阪府大東市中垣内7丁目7番1号

保 証 書

※ 本保証書は、本書記載の内容で無料修理を行うことをお約束するものです。

持込修理

品名	ポータブルワンセグテレビ	型名	LVS-31	製造番号	

お客様	お名前 ご住所 電話	販売店	店名 住所 電話

お買い上げ日	保証期間
年　月　日	お買い上げ日から　**本体1年間**

お客様にご記入いただいた保証書の控えは、保証期間内のサービス活動およびその後の安全点検活動のために記載内容を利用させていただく場合がございますので、ご了承ください。

1. 取扱説明書、本体貼付ラベルなどの注意書による正常なご使用状態で、保証期間中に故障した場合には、お買い上げの販売店又はFUNAIサービス窓口に商品と本書をご提示のうえ、修理をご依頼ください。無料修理させていただきます。
2. 保証期間中でも次の場合には有料修理になります。
   (イ) 使用上の誤りおよび不当な修理や改造による故障および損傷。
   (ロ) お買い上げ後の取付場所の移動、落下等による故障および損傷。
   (ハ) 火災、塩害、ガス害、地震、風水害、落雷、異常電圧およびその他の天災地変による故障および損傷。
   (ニ) 一般家庭以外（例えば事務用の長時間使用、車両、船舶への搭載）に使用された場合の故障および損傷。
   (ホ) 本書のご提示がない場合。
   (ヘ) 本書にお客様名、お買い上げ年月日、販売店名の記入捺印のない場合、あるいは字句を書きかえられた場合。
   (ト) 消耗品（電池など）を交換する場合。
   (チ) 故障の原因が本製品以外の他社製品にある場合。
3. 離島または離島に準じる遠隔地への出張修理を行なった場合には、出張に要する実費を申し受けます。
4. 本保証書は日本国内で使用される場合のみ適用されます。
   (This warranty is valid only in Japan)
5. この保証書によって保証書を発行している者（保証責任者）、およびそれ以外の事業者に対するお客様の法律上の権利を制限するものではありません。
6. 保証期間中の修理などアフターサービスについてご不明の場合は、お買い上げの販売店または最寄りのFUNAIサービス窓口にご相談ください。
7. 本書のお客様名、販売店名、お買い上げ日に記入捺印のない場合は、お買い上げの販売店にお申し出ください
8. 本書は再発行いたしませんので紛失しないよう大切に保管してください。

修理メモ

アフターサービス

※ **本製品は持ち込み修理となります。**

■ **ご購入のご相談、製品の取扱いに関するご質問は、下記お客様ご相談室までお問い合わせください。**

【船井電機株式会社　お客様ご相談室】　ナビダイヤル　0570-0271-01
(一般電話：全国どこからでも上限20円/3分毎でご利用いただけます) ※ 携帯電話からもかけられます。
PHS・050番号からは　**TEL (072) 871-1110　FAX (072) 871-1199**
受付時間 9:00 ～ 17:30 (土曜・日曜・祝日および夏季休暇・年末年始は除く)

- E-mailによるお問い合わせも受け付けております。
  くわしくは、船井電機株式会社ホームページ（**http://www.funai.jp**）の「**お客様ご相談室**」をご覧ください。

■ **製品の修理に関する総合的なご相談、修理のお申し込みは下記船井サービス(株) カスタマーセンターまでお問い合わせください。**

【船井サービス(株)　カスタマーセンター】　ナビダイヤル　0570-0271-02
(一般電話：全国どこからでも上限20円/3分毎でご利用いただけます) ※ 携帯電話からもかけられます。
PHS・050番号からは
[本社カスタマーセンター] TEL (06)6746-3373　FAX (06)6746-3374　〒577-0012 大阪府東大阪市長田東3-2-43 長田SKパークビル1F
[東京カスタマーセンター] TEL (042)679-5402　FAX (042)679-5406　〒192-0363 東京都八王子市別所1-18-10
受付時間 9:00 ～ 17:30 (土曜・日曜・祝日および夏季休暇・年末年始は除く)

- 本製品についてのインターネットによる修理のご依頼は **http://www.funai-service.co.jp** をご覧ください。

■ **付属品、部品のご注文は下記船井サービス(株)部品受注センターまでお問い合わせください。**

【船井サービス(株)　部品受注センター】　ナビダイヤル　0570-0271-03
(一般電話：全国どこからでも上限20円/3分毎でご利用いただけます) ※ 携帯電話からもかけられます。
【FAX】　フリーダイヤル　0120-0271-82
PHS・050番号からは　**TEL (0868)28-7183　FAX (0868)28-7052　〒708-0015 岡山県津山市神戸88**
受付時間 9:00 ～ 17:30 (土曜・日曜・祝日および夏季休暇・年末年始は除く)

- 本製品についての付属品のオンラインショッピングは **http://www.funai-service.co.jp** をご覧ください。

※ **所在地、電話番号は都合により変更する場合がございますので、ご了承ください。(2007年8月現在)**

安全上のご注意

※ この製品を正しく安全にお使いいただくために、次の事項に注意してください。

絵表示について

- この取扱説明書では、製品を安全に正しくお使いいただき、お使いになる方やほかの人々への危害や財産への損害を未然に防止するために、いろいろな絵表示をしています。
  表示と意味は次のようになっています。内容をよく理解してから本文をお読みください。

絵表示の意味

- **必ず指示にしたがい、行なってください。**

- **絶対に分解/修理はしないでください。**

- **絶対に行わないでください。**

- **注意してください。**

- **絶対に濡れた手で触れないでください。**

- **絶対に濡らさないでください。**

- **破裂に注意してください。**

- **絶対に水場では使用しないでください。**

⚠警告	**この表示を無視して誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。**
⚠注意	**この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、人が傷害を負う可能性が想定される内容および物的損害のみの発生が想定される内容を示しています。**

必ずお守りください

⚠警告

■ **ご使用になるとき**

禁止

本機をぐらついた台の上や傾いた所など、不安定な場所に置かない
- 落ちたり倒れたりしてけがの原因となるため注意してください。

水漏れ禁止

本機のそばに水などの入った容器や金属物を置かない
(花びん、植木鉢、コップ、化粧品、薬品など)
- こぼれて本機の内部に入った場合、火災・感電の原因になります。

水漏れ禁止
水場での使用禁止

本機を水でぬらさない
水滴のかかる場所に置かない
- 海岸・水辺や雨天・降雪時の窓辺での使用や設置に注意してください。
- 風呂場では使用しないでください。
- 内部に水が入ると火災・感電・故障につながります。

改造・分解禁止

本機を改造または分解しない
- ネジを外したり、分解しないでください。感電の原因になります。
- 内部の点検・調整・修理は、お買い求めの販売店にご依頼ください。

■ **電池の取り扱い**

乾電池を使用する場合は、被覆がやぶれたり、はがれているものを使用しない
- 乾電池そのものがショートし、やけどする危険があります。

電池は乳幼児の手の届かないところへおいてください
- 万一、お子様が飲み込んだ場合は、ただちに医師に相談してください。

⚠注意

■ **設置・移動のご注意**

海水や塩害に注意
- 海辺にお住まいのかたは窓からの海水や塩害に注意してください。

禁止

本機を車の中で使用しない
自動車内に放置しない
- 本機は車載用ではありません。
- 車載で使用した場合、車特有のノイズをひろい、音声や画像が乱れます。
- 窓を閉めきった自動車内では、夏場は高温になり、キャビネットが変形し、発火、発煙事故の恐れがあります。また冬場や雨期には結露が発生し、本機の故障の原因になります。

設置禁止

本機を次のような場所に置かない
- 湿気やほこりの多い場所
- 油煙や湯気が当たる場所
- 熱器具の近く
- 他のAV機器（テレビなど）の近く
- 直射日光の当たる場所
- 押し入れや本棚など風通しの悪い場所
- 閉めきった自動車内など高温になるところ
- 発熱による変形や火災・感電・故障の原因になります。

禁止

本機を持ち運ぶとき振動や衝撃をあたえない
- 故障の原因となることがあります。

■ **ご使用になるときのご注意**

禁止

本体に強い力や衝撃を加えない
液晶画面に強い力や衝撃を加えない

禁止

濡れた手で使用しない
- 水は電気を通しますので感電の恐れがあります。
- 必ずかわいた手で持ってください。

禁止

液晶パネルの破損
- 液晶パネルはガラスでできています。液晶パネルが破損したとき、ガラスの破片には直接触れないでください。けがをするおそれがあります。

禁止

本機を毛布や布団でおおった状態で使わない
- 内部に熱がこもり火災の原因になります。

■ **電池の取り扱いについてのご注意**

正しく入れる

乾電池は正しく挿入する
- プラス(+)とマイナス(−)の向きを正しく入れる
- 誤って挿入すると破裂・液漏れにより、けがや周囲を汚損する原因となることがあります。

禁止

指定されていない電池を使用しない、新しい電池と古い電池を混ぜて使用しない
- 破裂、液漏れにより、火災・けがの原因となることがあります。
- 本機を長期間使用しない場合は、電池をはずしてください。液漏れ等の原因となることがあります。

破裂注意

乾電池の取り扱いに注意
- ショートさせない
- 分解・加熱をしない
- 火の中に投入しない
- 破裂したりする危険があります。

■ **音量について**
- 大音量で長時間続けて聞きすぎないでください。
- はじめからボリュームを上げすぎないでください。

■ **眼精疲労について**
- 長時間液晶テレビを見続けると、目に疲労が蓄積されます。

■ **液晶パネルについて**
- 液晶画面に赤や青、緑の点が見えるのは、液晶パネル特有の現象です。故障ではありません。
- 液晶パネルは非常に精密な技術で作られておりますが、画素欠けや常時点灯するものがあります。
- 液晶パネルの表面は特殊な加工をしていますので、強くこすったり、固い布などでふいたりしないでください。表面に傷がつくことがあります。

■ **本液晶テレビの廃棄**
- 事業者が廃棄する場合
  本液晶テレビを廃棄するときには廃棄物管理表（マニュフェスト）の発行が義務づけられています。詳しくは各都道府県産業廃棄物協会にお問い合わせください。廃棄物管理表は、(社)全国産業廃棄物協会に用意されています。
- 個人が廃棄する場合
  お買い求め先にご相談いただくか、地方自治体の条例または規則にしたがってください。

■ **ご注意**

本機の近くで携帯電話およびPHSなどを使用すると、テレビ画面や音声にノイズが入ることがあります。この現象は本機の故障ではありません。携帯電話およびPHSなどを使用するときは、本機から離れた場所でご使用ください。

※ この取扱説明書のイラストや画面はイメージであり、実際とは異なる場合があります。

ご使用の前に

■ 各部の名前

本体前面

- **電源スイッチ**: 電源を入/切する場合は、電源スイッチを右にスライドしてください。
- **決定ボタン**: 決定するときに押します。
- **選局+/-ボタン**: チャンネルの切り換えやメニューの選択に使用します。
- **音量+/-ボタン**: 音量の調整やメニューの選択に使用します。
- **設定ボタン**: 設定メニューを表示するときに押します。
- **表示ボタン**: チャンネル表示を出すときに押します。
- **ズームボタン**: ズームを行うときに押します。
- **字幕ボタン**: 字幕を表示するときに押します。
- **内蔵アンテナ**: アンテナをまっすぐ引き出してください。アンテナの根元で折り曲げられます。なお、折り曲げる方向にご注意ください。無理に曲げようとすると破損する恐れがあります。
  本機を使用しないときはアンテナを収納してください。
  アンテナをまっすぐに伸ばし、ゆっくりとアンテナを押して本体に収納します。
- **ストラップホール**: 市販のストラップを取り付けます。
- **スピーカー**: 本機のスピーカーから聞こえる音はモノラルです。ステレオ音声を楽しむには、付属のステレオイヤホンをお使いください。
- **ステレオイヤホン端子**: 付属のステレオイヤホンを接続します。
  ステレオ放送の場合はステレオで出力されます。二重音声放送の場合は二重音声設定で設定された音声出力となります。
- **電池ぶた**

本体背面

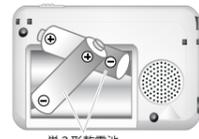
■ 付属品

- ステレオイヤホン
- 単3形アルカリ乾電池（2本）（本機動作確認用）
- 取扱説明書 / 保証書（本書）

■ 電池の入れかた

1 ふたを開ける

2 付属の単3形アルカリ乾電池、または別売りの単3形ニッケル水素電池を2本入れる

（マイナス(-)から先に入れます）

3 ふたを閉める

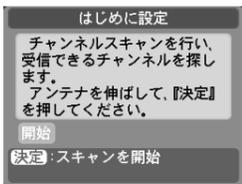
お願い
- 異なる種類の乾電池を一緒に入れないでください。
- 古い乾電池と新しい乾電池を一緒に入れないでください。

- **「アルカリ乾電池ご使用の注意」**
  アルカリ乾電池は、外枠がプラス極になっているために、本体のマイナス極バネが乾電池のマイナス極と被覆（外枠の被覆がはがれている場合）に同時に接触した場合、乾電池そのものがショート（短絡）状態になり、ショートした部分が発熱しやけどする危険があります。
  アルカリ乾電池をご使用になる場合は、被覆がやぶれたり、はがれていないものをご使用ください。

チャンネルスキャン（はじめに設定）

※ ご購入後はじめて電源を入れたときは、画面の指示にしたがって「はじめに設定」を行なってください。

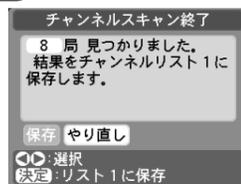
1 電源 を入れる

電源を入れる場合は、電源スイッチを右にスライドしてください。

- 「はじめに設定」画面が表示されます。

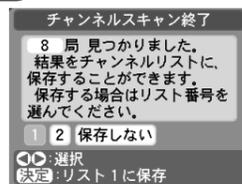
2 アンテナを伸ばし、 決定 を押す

- チャンネルスキャンが開始されます。
- チャンネルスキャンには数分かかる場合もあります。
- チャンネルスキャンを行なう際は、見通しの良い場所など電波状態の良い場所で行なってください。
- アンテナで目や人を突かないよう注意してください。

はじめに設定の場合

3 「保存」が選ばれていることを確認し、 決定 を押す

- 「保存」を選んで 決定 を押すと、「はじめに設定」が終了し、チャンネル番号が最小のチャンネルを表示します。
- ▷ を押して「やり直し」を選び 決定 を押すと、再度チャンネルスキャンが行われます。
- チャンネルスキャン完了後、チャンネルが見つからなかった場合、再度スキャンを行う必要があります。見通しの良い場所でアンテナを伸ばし、 決定 を押すと再度チャンネルスキャンが開始されます。

チャンネルスキャンの場合

3 ご希望の項目を、◁ / ▷ で選び、 決定 を押す

- チャンネルリストが保存されている「リスト」を選んで 決定 を押すと、「確認画面」が表示されます。「確認画面」で「はい」を選び 決定 を押すと、チャンネルリストが上書きされます。その後、チャンネル番号が最小のチャンネルを表示します。
- 「保存しない」を選んで 決定 を押すと、チャンネルリストを保存せずに「設定メニュー」にもどります。

視聴中の操作

■ チャンネル選局

を押す

- 押すたびにチャンネルを順々に選局します。（チャンネル番号順）

■ チャンネル表示

を押す

- 押すたびにチャンネル表示・非表示が切り換わります。

■ 音量調整

を押す

- ▷ を押すと音量が上がり、▽ を押すと音量が下がります。
- バス、電車内などの公共の場にて、大きな音量で使用すると周囲の迷惑になります。音量を小さく設定したり、イヤホンを使用するなど、周囲の迷惑にならないようご配慮ください。

■ 字幕

を押す

- 押すと現在の字幕設定が表示され、字幕設定が表示中に再度押すと「字幕１」、「字幕２」、「字幕オフ」の順で切り換わります。

■ ズーム

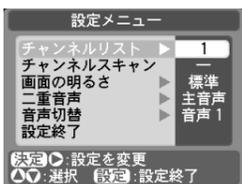
ズーム を押す

- 押すたびに「ズーム」、「ノーマル」と切り換わります。
- 電源オフおよび選局時、自動的に「ノーマル」に設定されます。

設定メニュー

※ 各種設定項目の内容については、「設定メニュー 一覧」をご覧ください。

1 設定 を押す

設定メニュー
チャンネルリスト ▶ 1
チャンネルスキャン —
画面の明るさ ▶ 標準
二重音声 ▶ 主音声
音声切替 ▶ 音声１
設定終了
決定▷:設定を変更
△▽:選択 設定 :設定終了

- 「設定メニュー」が表示されます。

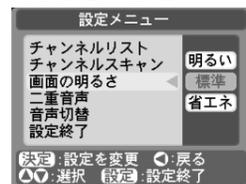
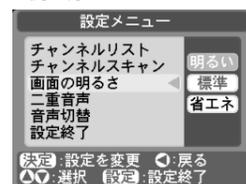
2 △ / ▽ で設定したい項目を選び、 決定 を押す

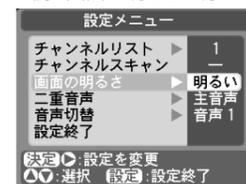
<例：画面の明るさ>

設定メニュー
チャンネルリスト
チャンネルスキャン
画面の明るさ ◁ 明るい / 標準 / 省エネ
二重音声
音声切替
設定終了
決定 :設定を変更 ◁:戻る
△▽:選択 設定 :設定終了

3 △ / ▽ でお好みの設定を選ぶ

<例：明るい>

設定メニュー
チャンネルリスト
チャンネルスキャン
画面の明るさ ◁ 明るい / 標準 / 省エネ
二重音声
音声切替
設定終了
決定 :設定を変更 ◁:戻る
△▽:選択 設定 :設定終了

4 決定 を押す

<例：画面の明るさ：明るい>

- 設定が反映されます。
- **設定 を押すと、設定が終了し通常画面に戻ります。**

■ 設定メニュー 一覧

※ □（ハイライト部）はお買い上げ時の設定です。

項目	内容	設定
チャンネルリスト	設定を行なったチャンネルリストを選択できます。チャンネルリストは２つまで作成できます。	1
		2
チャンネルスキャン	全チャンネルをスキャンして、受信可能なチャンネルを登録します。	チャンネルスキャン（はじめに設定）参照
画面の明るさ	画面の明るさを調整します。	明るい
		標準
		省エネ
二重音声	二カ国語放送の視聴時に、音声の種類を設定します。	主音声
		副音声
		主＋副
音声切替	複数音声放送の視聴時に、音声の種類を設定します。	音声１
		音声２

故障かな？

症状	原因と対処
電源が入らない	・電池は入っていますか？ ・電池が消耗していたり、電池の極性を間違えていませんか？
電源が切れる	・電池が消耗していませんか？ 新しい電池と交換してください。
映像や音声が出ない（または、ときどき出なくなる）映像が静止する（または、ときどき静止する）	・電波の届きにくい所では、映像や音声が出なくなったり、静止することがあります。アンテナの向きを調節してください。 ・地下や鉄筋のビルなどでは電波を受信しにくくなります。窓際や屋外など、電波を受信しやすいところでご使用ください。 ・視聴可能なエリアの目安を、下記のホームページでご確認いただけます。社団法人デジタル放送推進協会 http://www.dpa.or.jp/
表示が暗い	・設定メニューの「画面の明るさ」で、見やすい明るさに調整してください。 ・日中の屋外などの明るい場所では画面が見えにくくなります。日陰など、強い光があたらない場所でご使用ください。 ・周囲の温度が低い場所では画面が見えにくくなります。適切な温度下（0℃～40℃）でご使用ください。

症状	原因と対処
字幕が表示されない	・字幕設定は「字幕１」または「字幕２」が設定されていますか？ ・設定されている字幕が、視聴中の番組で放送されていますか？
音が出ない	・音量が小さく設定されていませんか？
イヤホンから音が出ない	・イヤホンがはずれていませんか？ 正しく接続してください。
映像が画面からはみ出して見えない部分がある	・ズーム設定は適切ですか？ 放送やズームの設定によっては、映像の上下や左右がカットされてしまう場合があります。
チャンネル表示が画面から消えない	・表示 を押して、「チャンネル表示」が常に出る設定にしていませんか？ 再度、表示 を押してください。

A72V0JH
1KM420799 ★★★★★
Printed in China